



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

古田 和彦

兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。

ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

(ガラテヤの信徒への手紙 5 : 13)

今月のひとこと

『感動の台湾旅行』

大高 治



去る 4 月コロナの為に延期していた台湾旅行に出かけました。16 世紀半ば台湾にやって来たポルトガル人は、山脈や森林の景色に感動して「Formosa」美しい島と呼び、欧州では今もフォルモサが使われているそうです。美麗島、麗しの島とも言われて来ました。それから 500 年弱、麗しの島再発見の感動の旅でした。

私は 1978 年 5 月から 4 年弱、台湾に駐在していました。日本が後進国を脱したのは 1968 年。それから 10 年後の台湾はまだ発展途上でした。高速道路は建設の途上、海外からの投資を歓迎する半面、外貨の流出は厳しく制限されていま

た。一緒に旅をした友人もほぼ同時期、台湾に駐在していました。帰国後、共に出張が続きましたが、台湾の印象と言え

先人の偉業

私たちの駐在中に台湾を一周出来る鉄道が完成しました。鉄道での台湾一周は何故か我々仲間の夢でした。今回それをやってみたかったのですが、東海岸を走る海線は時間がかかり過ぎ、諦めました。代って台湾発展の基礎を作った八田與一の偉業の場、台南の烏山島ダム、高雄の台湾糖業の跡

烏山島ダム



台湾陶業の跡地

地に保存されている博物館などを見学しました。砂糖キビ栽培のための水の供給という課題から、広大な屏東平原を潤す偉業を成し遂げた、鳥居信平による伏流水ダムも見かけた

のですが、世界的にも珍しい地下ダムは、専門家が居なければ何も見えないことが分かりました。

頼もしい青少年と技術立国

40 年の発展の姿を台北、台中、台南、高雄の主要都市で見ることが出来ました。高層ビル、高速鉄道 (新幹線)、高速道路ばかりでなく、街路樹も良く伸び、青少年も身長が高く、

<2023年8月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メ 7名 メネット 2名 コメット 0名 ビジター26名 ゲスト 12名 合計 47名	58 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<9月の行事予定>

EMC

日	曜	時間	行事内容	場所
1	金	10:00	スピーチコンテスト兼 第一例会	中央Yチ ャペル
5	火	19:00	第99回Y-Ys協議会	中央Y
23	土	10:00	横浜Yフェスタ	とつかY
28	木	17:00	第二例会	Zoom

恰幅も良く頼もしさを感じました。新しいマンションからは鉄格子が消え、治安が良かった噂を裏付けています。公園も増え空気もきれいになり、先進国の明るい街角の出現です。埋立地だった台北には地下鉄は走れないと言われていましたが、立派な電車がハイテクで運行されています。QRコードをかざすと改札のバーが開きます。半導体に代表される技術立国の台湾は、今や外貨保有高世界第4位にまで上っています。

自由の味からの運氣

空に永く漂っていた暗雲が消えたような大きな変化、台湾に住む人々には見えないかも知れません。人々の心に中に生まれ始めた変化は月日と共に何かを醸し出しているようです。それは一体何だろうか。民主主義と「自由の味」をかみしめている人々が発する「気」が「運氣」となって立ち上っているのではなかろうか？ 戒厳令は1987年に解除され、台湾人の偉大な政治家、李登輝総統の下で、大陸からの万年議員は排除され、1996年には初の総統の直接選挙が行われました。本格的な民主主義の始まりです。日本統治時代の評価を含む歴史教育の改革は、麗しの日台関係を生むに至っています。

私は衝撃的な変化を体験しました。42~3年前の双十節(十月十日)のことです。台湾の大きなお祭りの日、総督府の前で中を覗こうとした時、監視の兵隊に銃口を向けられたのです。かなり離れていましたが、市民に軽々と銃口を向ける社会がまだあったのです。一方、今や誰でも総督府見学が出来ます。パスポートを持って並ぶと護衛や受付の女性にこやかに迎えてくれます。そして最後の部屋では、蔡英文

POWER TO THE PEOPLE



蔡英文総統と...

総統とバーチャルながら記念写真が撮れるのです。何という違いでしょう。

自由の広場と将来の総統

アメリカは日本に原爆を落とし、台湾には蒋介石を落とし、と言われていましたが、これはもはや本の中だけに残る言葉ではないだろうか。蒋介石記念館の大きな看板「大中至正」の「中正」は蔣総統の別名です。この記念館も「自由広場」と改名されました。至る所にあった蔣総統の銅像は撤去されて、目立たない所に移されました。一方蔣総統の曾孫は台北市長に当選。まだ43歳の若さ、将来の総統候補と言われています。かつてのように本省人(台湾人)か外省人かを問うことは少なくなり、今や80%が台湾人というとのことです。

筑波山麓の運氣と祖父

60年前東京以外に学園研究都市を作ろうとした時、4つの候補地をセスナで巡ることになりました。責任者、河野一郎建設大臣と他2名は、4つ目の候補地、筑波山の南の山麓上空に達すると、「ここだ」と叫んで立ち上がり、天井に頭をぶつけた人がいたと文芸春秋に書かれています。一体何が見えたのだろうか。台湾の上空と同じく、運氣が立ち上っていたのではなかろうか。辞書には気は空間にあって目に見えないもの、万物が育つための根源力等々と書かれています。

「気」と言えば、10歳前後の頃、母の実家に行くと、祖父は「良く来たなあ」というより早く、和綴の古い漢書を持ち出し、懇々と読み聞かせてくれるのでした。その中で唯一覚えていたのは、これから生きて行く上で一番大切なのは、「気」だということでした。それから70年、少年時代から頭の隅にあった「気」が筑波山の山麓の運氣と台湾で立ち上る運氣に繋がったように思います。

台湾有事と強い我々(我々)

台湾有事が叫ばれています。その気配を外で感じることはありませんでしたが、毎朝ホテルで配られる漢字の新聞には、台湾所有のミサイルの種類とその攻撃能力等々が掲載されていました。国民に緊迫感を与えているのだと思います。台湾有事を想定した避難訓練は毎年行われ、訓練規模は年々大きくなっているようです。兵役義務も4か月から1年に延長されます。この7月24日、台北の250万人があらゆる乗り物や路上から消える防空避難訓練を取材した元NHKの有働キャスターの問いに、若い兵隊さんは「戦争は起こって欲しくない。だが、我々は訓練をして備えています。我々は強く、負けません」と力強く答えていました。自由の味、麗しの島の運氣、永く続くことを願っております。

ワイズの繋がりに感謝

高速鉄と在来線の台中駅は同じ所と思っていた私たちは、以前働いていた会社の台中工場に行くのは簡単だと思っていました。ところが両駅は全くことなる所にあり、車なしでは行けません。4年前の2019年、仙台でのアジア太平洋地域大会で知り合いになった台中ワイズメンズクラブの王先生と曾先生にはお世話になりました。ワイズの繋がりに感謝します。

<納涼例会兼8月第一例会報告>

大高 治

日時: 8月24日(木) 18:00~20:00

場所：ロイヤルホール横浜

出席者：横浜クラブ9名（秋元、伊藤メネ、大高、古賀、佐竹、田口、立花、古田メン・メネ）

ゲスト12名：富山姫路子（演奏者）、秋山由三子（伴奏者）、トン・ユウシャン（留学生・中国）、ラグール（留学生・インド）、Akemi Klotka、Mark Klotka、市川隆幸、長田光玄（中央YMCA）、竹田美奈子、寺田裕子、長島裕子、平田彰

ビジター26名：東京多摩スマイルクラブ（1名）、鎌倉クラブ（3名）、横浜とつかクラブ（5名）、厚木クラブ（6名）、金沢八景（6名）、横浜つるみ（5名）



加藤ワイズによる乾杯

月の聖句、佐竹ワイズによる食前感謝、最高齢横浜とつかの加藤ワイズによる乾杯の後、食事・歓談へと進みました。

ウクレレからフルートへ

横浜クラブの納涼例会は2018年まで桜木町駅近くの“既の

食卓”での開催が恒例でした。ウクレレの名士今村元ワイズの下、フラダンスチームが華やいだ雰囲気をつくり出しました。2019年

にはしっかりと、ここロイヤルホール横浜での開催となり、それから3年、コロナに耐え、本年待望の4年振りの開催と



フルート演奏中の富山さんと伴奏の秋山さん

合計47名
古賀ワイズの司会により、開会点鐘および古田会長挨拶、全員でのワイズソング・ワイズの信条、司会者代読の今

なりました。

秋山由三子さんの伴奏による富山姫路子さんのフルート演奏は従来の納涼例会を一変し、「恋に落ちて」や「バードランドの子守歌」など次から次へと名曲が続き、終始優雅な雰囲気醸し出して下さいました。更に東京多摩スマイルクラブの伊藤ワイズによるオカリナとギターでは「遠い世界に」を、厚木クラブの小松ワイズのギターでは「You Raise Me Up」を熱演され、トランペット演奏もあり、それぞれに横浜クラブの古賀ワイズら有志が加わって、盛り上げて下さいました。

喜びあえる会、大勢のゲストと留学生も参加

古田会長は「楽しく、皆さんと共に喜びあえる会」にしようと思つて腐心しました。横浜クラブのワイズがチューターを務めるYMCA日本語学校の留学生2人もワイズとの交流を楽しんでおりました。日本への永住を決め、一昨年米国から鎌倉に移って来たクロトカさんは、奥さまの明美さんと共に、何度も“Very Good”のサインを送ってくれました。また、他のゲストの方々からは、感動のコメントが寄せられています。目標の第一歩は十分に達成出来たと思います。「You raise me up」は「more than I can be」と続きます。「自分で出来る以上に」皆さまが「私たちが育てて下さる」のです。

「とても素敵な集いにお招きいただき誠に有難うございました。」

「和やかな雰囲気の中でお話ができました事に心より感謝を申し上げます。」

「各方面でご活躍の多くの方々とお繋がることができ、こんなにも嬉しいことはありません。」

「いい人に交わっていると良い結果に恵まれそうです。ぜひこのご縁を大切にしたいと存じます。」

「上品な方々とお話をさせて頂いて、とても幸せな気持ちになりました。」

「魅力的な活動をしているYMCAだと改めて感じました。」

勧誘カード

横浜クラブはQRコード、URLから更新したHPにアクセス出来る勧誘カードを用意しました。東日本区のHPにもアクセス出来ます。共に「You raise me up」、共に「more than I can be」と進みたい。残念ながら急に体調を崩された重鎮に、末筆ながら、快癒を祈り申し上げます。



納涼例会参加の皆様

「絵本贈呈式」

秋元 美晴

8月15日(火)に、横浜YMCAのグローバルキンダーガーデンとアフタースクール(学童)で絵本贈呈式が行われました。チャイルドケア施設への絵本の寄贈は、ワイズメンのパートナーである東日本区メネット委員会の事業として、これまで継続されてきました。各事業の担当者からリクエストされた本が贈られます。今回は申込冊数が大変多かったために、冊数を制限して、すべて各事業所に贈呈したそうです。

グローバルキンダーガーデンには、『おふとんかけたら』と『ペンぎんたいそう』が、アフタースクール(学童)には、『こどもSDGs なぜSDGsが必要なかがわかる本』と『モモ』がそれぞれ贈られました。絵本贈呈式ですが、アフタースクールには絵本ではなく児童書が贈られました。

古田ワイズと古賀ワイズ、そして私の3人が立花さんの誘導のもとグローバルキンダーガーデンとアフタースクールに参りました。子どもたちは緊張して私ども3人を迎えてくれました。本よりも3人に興味津々のようでした。代表のお子さんが古田ワイズより贈呈された2冊の本を受け取ってくれました。私は子どもたちの多くのきらきらした目で見られて、とても恥ずかしかったです。

きっと今頃は、みなさん、本を楽しんで読んでくれていることでしょう。この活動をいつまでも続けていきたいと思います。



「第30回 AIDS 文化フォーラム in 横浜 報告」

第30回エイズ文化フォーラムが、8月4日(金)から6日(日)まで、かながわ県民センターで開催されました。第27回以降、コロナ禍でオンライン開催が続いていましたが、4年ぶりに来場者を迎えて開催されました。

今年のテーマは、「未来を見つめて」でした。開会式では、佐竹博組織委員長より、「今も以前も変わらないもの、今の時代に沿ったもの、今の時代だからこそ必要なもの、そして未来のために今なすべきことなど、多様な視点から進化し続けるプログラムが多彩に用意されている。参加される皆様も参加者から、共にAIDS文化フォーラム in 横浜をつくっていく文化の発信者になっていただければ嬉しく思う」とあいさつがありました。

続くオープニングでは5人のパネリストが1994年以降、これまでの30年間、HIV/AIDSの治療方法、福祉制度の変遷、様々な経験について意見を交わしました。

オープニングセッションに続き30の分科会も開催され、性教育に携わる教育関係者、病院関係者、看護学生、ボランティアなど、延べ3,067名(会場1,673名、リモート1,394名)

が参加しました。

1階展示場では、参加団体による展示、運営委員による30周年企画として、来場者で作る未来に向けたメッセージボードパネルや、横浜雙葉学園茶道部の協力によるワークショップが行われました。

このAIDS文化フォーラム in 横浜は30年前に横浜で国際AIDS会議が開かれたのち、横浜YMCAが事務局となって、各種市民団体を中心に実行委員会を結成して例年運営しているもので、ワイズメンズクラブ東日本区も協賛しているほか、湘南沖縄部は組織委員会の一員として協力しています。

AIDS文化フォーラムは今や京都、陸前高田、佐賀、名古屋でも開催されています。

(当報告は、横浜Yのスタッフが用意してくださった資料を参照しながら編集子が作成したものです。)

「近況:まだ生かされています」

伊藤 誠彦



丁度1年前のブリテン9月号で、一昨年10月、悪性胸膜中皮腫(癌の一種、ステージIV)と診断され、「がん免疫療法」で延命治療を受けていることを報告しました。

一時は、80歳の誕生日(令4年11月)を迎えるのは無理と覚悟をしましたが、病院の医師やスタッフの方々、献身的にサポートしてくれている家内をはじめとする家族、励まし温かく見守ってくれる周りの人々のおかげで、まだ生かされています。

現在は、2週間に一度の頻度で通院し、オブジーボという薬の点滴を受けています。下腿に力が入らなくて外出するときには杖が手放せない、食欲が以前ほどはなくなって体重が著しく減った、皮膚がかゆい、など軽い副作用(と、思われるもの)があるものの、日常生活に大きな支障をきたすほどのものではありません。

ワイズの活動は、自宅(横須賀)から関内YMCAまで出かけていく元気が出ないもので皆さんの好意に甘えて、例会にはZoomで出席させてもらっています。コロナが猛威を振っている時はZoom利用が当たり前でしたが、やや落ち着いてきた昨今では、第一例会には中央YMCAに集まって開催することが増えてきています。それでもZoomでしか参加できない私のために(勿論、私一人のためでないことは分かっていますが)わざわざZoom出席を可能にいただいているようなのには、リアル出席困難者の一人として、いささか気が引けます。

「絶対に病気に打ち勝つんだという強い気持ちを持つほうが病は直る」と言われますが、しかし、心のどこかに「治るものは治るし、治らないものは治らない」という気持ちがあるのも事実です。

生かされている間は、ワイズメンズクラブの一人として、地元の自治会の老人クラブの一員として、また、私生活においても、もう少しの間生かされることを願って、自分に与えられた役割を誠実にこなしていきたいと考えています。

第二例会報告

古田 和彦

日時：8月17日(火) 17:00~18:30

場所：Zoomによる開催

出席者：秋元、伊藤、大高、古賀、立花、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

・資料により10月までの予定が示され、了承した。

2. 協議・報告事項

1) 8月納涼例会(8月24日)の諸準備について

・参加予定者は47名。うち、ゲストは10名である。

ゲスト：富山姫路子、秋山由三子、トン・ユーシャン、ラ
グール、Mark Klotka、Akemi Klotka、長田光玄、武田
美奈子、長島裕子、寺田裕子 計10名

ビジター数 鎌倉：3、とつか：5、厚木：6、八景：6、
つづき：1、つるみ：5、東京多摩スマイル：1 計27名
横浜クラブ：10名

・当日の役割 全体司会：古賀、開会・閉会：古田、会計：
大高、食前祈祷：佐竹、乾杯：加藤(とつか)、ハッピー
バースデー：秋元、受付：大高、古賀メネット、立花

・事前準備 プログラム作成：古田、立花

受付用リスト・座席配置テーブル表：古田、立花(テー
ブル座席表は協議の上、原案を一部修正)

名札作成：立花 領収書：大高

備品まとめ：古田、立花 備品搬入・搬出：古賀、古賀メ
ネット

ロイヤルホールとの連絡：古田

演奏者用花束準備：古賀、古賀メネット

2) 第10回横浜YMCA専門学校 日本語スピーチコンテ スト(兼第1例会)

9月1日(金)10時~12時 於：横浜中央YMCA 9階チ
ャペル オンラインで視聴可

当クラブ：審査委員長：秋元ワイズ、審査員：齋藤ワイズ
支援金：3万円

終えた後、懇談の時を持つ：司会はワイズが務める→古賀
ワイズが務めることに決定

3) 10月第1例会について

10月12日(木)18:30~20:00 於 横浜中央YMCA
卓話：山田公平東日本区理事

4) ブリテン9月号編集計画について

一部、執筆者を変更して承認した。原稿締め切りは9/1
(金)

5) 勧誘名刺について

大高ワイズ、秋元ワイズの提案をまとめ、8/24にはプログ
ラム裏面に印刷することと、名刺サイズより大きいもので準
備することとした。そののち、体裁等を再度整えて、名刺と
する。

り、プールや体育館の点検、害虫駆除などを行いました。こ
の期間で、健康教育部では富士山YMCAと三浦YMCAの両
キャンプ場でサマーキャンプが実施され、無事終了いたしま
した。また、専門学校は神奈川県各種学校専修学校のサッカ
ー大会に出場し、日本人+留学生の混合チームで挑みました。

・8月1日(火)~4日(金) 学童キャンプA・B

・8月2日(水) こども食堂

・8月6日(日)~13日(日) 横浜中央YMCA 休館期間

・8月7日(月)~10日(木) 神奈川県各種学校専修学校
のサッカー大会

・8月14日(土) 作業療法科 後期開始/日本語学科 前期
後半授業開始

・8月15日(火)~17日(木) 全国少年少女水泳大会

スピーチコンテスト兼9月例会プログラム

日時：9月1日(木) 10:00~12:00 + 懇談

場所：中央Yチャペル

1. 会長挨拶.....古田会長
2. 総主事挨拶.....佐竹総主事
3. 審査員紹介
審査委員長.....秋元ワイズ
審査員.....齋藤ワイズ他
4. スピーチ
8名
5. 審査結果発表
全体講評.....秋元審査委員長
(会場移動)
6. 懇談会..... 司会 古賀ワイズ
表彰式
7. 閉会

10月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第第一例会	中央Y
14	土	10:00	横浜YMCA第26回チャ リティーラン	臨港パーク
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA立花 明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080



担当主事 立花 明美

8月6日~13日まで横浜中央YMCAは夏季休館期間とな

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★